

「住み慣れた町で最期まで暮らすために」 —「在宅療養」の可能性を考える—

あなたや、あなたのご家族が、治らない病気になったら…最期をどこで迎えたいでしょうか？「住みなれたこの町の、できれば自宅で過ごしたい…」そんな思いを支えたご家族に、実際の経験を話していただきます。また、ともに支えた「この町」の医師や看護師、ヘルパーなどの在宅医療や福祉の担い手も交えて、「この町で最期まで暮らし続ける」ことについて考えてみませんか。

日 時：平成22年2月12日（金）

14：30～17：00 ※14：00開場

会 場：四谷区民ホール

（地下鉄）丸ノ内線「新宿御苑」より徒歩5分

（都バス）品97新宿駅西口～品川車庫「新宿一丁目」下車

参加費：無料

□ 基調講演「住み慣れた町で最期まで暮らすために」

- ・ 松本武敏（いしかわ内科副院長・熊本在宅ドクターネット学術担当）

□ 新宿区の在宅療養を支えるしくみ

- ・ 白井淳子（新宿区健康部副参事）

□ パネルディスカッション

- ・ 福岡稔晃（四谷クリニック院長）
- ・ 前田知美（白十字訪問看護ステーション 看護師）
- ・ 本間 徹（㈱日本生科学研究所 新宿ブロックエリア長）
- ・ 在宅で介護を経験されたご家族

コーディネーター：秋山正子（白十字在宅ボランティアの会理事長・
白十字訪問看護ステーション統括所長）

◆申込み・問合せ

NPO 法人 白十字在宅ボランティアの会
新宿区 健康部健康推進課健康企画係

(5935) 7708
(5273) 3494

主催：新宿区

後援：新宿区医師会